

す く す く 通 信 第2号

「心弾む！田植えドキドキキャンペーン」に当選された皆様に、6月3日（土）に田植え体験をして頂きました、栃木県那須烏山市（JAなす南）の「田んぼ」の様子をご紹介します！（田植え後65日目の様子です）



田植えをしてから二ヶ月が過ぎました。深緑から明るい緑色になり、草丈もずいぶん伸びました（平均91cm）。

みなさん、「出穂（しゅっすい）」って知っていますか？出穂とは、その名の通り、稲穂が茎から出てくることを言います（写真右）。



本日、稲の中を調べてみたところ、出穂まであと8日程度であることがわかりました！（写真左の白っぽいものが稲穂の赤ちゃんです。）

栃木県の稲は、出穂してから約45日程度で稲刈りの時期を迎えると言われておりますので、だんだんと稲刈りが近づいてきているのがわかりますね。



「栃木の夏は雷が多い」と前回書きましたが、ここにもおいしいお米ができる秘密があるのです！夏は日中30℃以上にもなりますが、夕方には名物の雷を伴った夕立が夜間の気温を下げて日中と夜間の寒暖差を生み出します。この寒暖の差が、おいしいお米ができる理由のひとつです。